

# Sinfonietta

シンフォニエッタ

第3号

第4回定期演奏会

ニューイヤー・コンサート 大地の歌

2007年1月8日(月・祝) 14時開演

J.シュトラウスⅡ：美しく青きドナウ／皇帝円舞曲／ポルカ「狩り」  
マーラー／シェーンベルク：交響曲「大地の歌」 -室内オーケストラ版- (静岡初演)

指揮：中原朋哉

アルト：原田和加子    ソプラノ：岡本実佳／齋藤晴美

主催：シンフォニエッタ 静岡

後援：静岡県、(財)静岡県文化財団、静岡市、静岡市教育委員会  
静岡新聞社・静岡放送、毎日新聞静岡支局、朝日新聞静岡総局  
マリナバル 76.3、NHK 静岡放送局、あさひテレビ  
(他)静岡等、このほか、このほか

## Profile

中原 朋哉 (なかはら ともや/指揮 シンフォニエッタ 静岡 芸術監督)



愛知県小牧市生まれ、静岡県焼津市に育つ。フランス・ディジョン音楽院指揮科にてジャン＝セバスチャン・ベロー氏に師事。1993年よりバスカル・ヴェロ氏のアシスタントを務め、1996年フランス国立リヨン管弦楽団定期演奏会、グルノーブル音楽祭に同管弦楽団史上最年少指揮者としてデビュー。フィガロ紙の「柔軟で完璧な演奏をする、奇跡とも思えるほど驚くべき才能を持った指揮者である。」との評をはじめ、各紙から好評を得た。2001年よりフランス国立ペイ・ドゥ・ラ・ロワール管弦楽団においてユベール・スーダン音楽監督の助手を務め、また同氏の指名によりザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団において副指揮者を務めた。

近年、特にフランスの近・現代作品の紹介に力をいれ、その活動は高く評価されている。中でも2005年7月にデュティユー：ヴァイオリンと管弦楽のための夜想曲「Sur le même accord」の日本初演をヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエと行い、その演奏は作曲家からも高く評価された。

ラジオ番組(FMしみず月曜 19～20時 ワープ・ワープ・ワープ「中原朋哉のシンフォニエッタ・アワー」)のパーソナリティ。第24回国民文化祭しずおか2009 企画委員。

### 原田 和加子

(はらだ わかこ/アルト)



日本大学芸術学部、ウィーン市立コンセルヴァトリウム リート・オラトリオ科卒業。末芳枝、デビット・ルッツ、ビルギット・シュタインベガー、コリーン・ホルメスの各氏に師事。オラトリオ、第九のソリストを中心に活躍。第7回日本アンサンブルコンクール(横浜)にて、田中淳一(ピアノ)とともにリート・デュオ部門の中で最も優れた1組に送られる小佐野英子賞を受賞。ウィーン在住。

### 岡本 実佳

(おかもと みか/ソプラノ)



武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会育成部第19期修了後、渡伊。第10回ラーリオ音楽コンクール4位。第2回ヴェルチェリ国際コンクール入賞。第2回カルロゴメス国際コンクール入賞。飯塚音楽コンクール入賞。オペラ「カルメン」「サンドリオン」「修道女アンジェリカ」のほか、ミラノのヴェルディの家での定期コンサート、ガララーテ、ポッコロニ大学、ポロモーツァルト等のコンサートに出演。菊地英美、F.カステッラーナ、L.ヴァスタ、L.ゴルラ諸氏に師事。藤原歌劇団団員。日本演奏連盟会員。

### 斎藤 晴美

(さいとう はるみ/ソプラノ)



宇都宮大学、同大学院音楽教育専攻修了、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。スイス国立チューリッヒ音楽大学マスタークラス(受講料免除)修了。これまでにモーツァルト「フィガロの結婚(伯爵夫人)」、「ドン・ジョヴァンニ(ドンナ・アンナ)」、J. S. Bachの教会カンタータなどのソロを務める。また昨年 NISSAY OPERA 2006「利口な女狐の物語」にて、雄鶏ときつつき役で出演。声楽を三縄みどり、高橋大海、島崎智子の各氏に師事。

## 「シンフォニエッタ 静岡」 Sinfonietta Shizuoka, JAPAN

「シンフォニエッタ 静岡」は、クラシックの名曲のみならず演奏機会の少ない室内オーケストラのための優れた作品を静岡から発信するため、2005年1月に創立され、2006年5月より年4回の定期演奏会を開始。静岡県内を中心に学校での音楽教室、あらゆる年齢層を対象とした様々な企画による演奏会、音楽教育、音楽啓蒙活動を展開しています。楽団員は、芸術監督、オーディションによって選ばれた若手演奏家、オーケストラ経験豊富なアドヴァイザーにより構成されています。2006年10月1日には日本におけるバソン(フランス式ファゴット)の第一人者、小山清がスーパーソリストに就任しました。フランス以外の国では唯一バソンの定席を置くオーケストラとして、今後の活動に注目が集まっています。

芸術監督 ..... 中原朋哉 志田明子  
 コンサートマスター .. 松本亜土 植村圭  
 フルート ..... 加藤裕美 中村友紀  
 オーボエ ..... 植田明美 松田尚子  
 クラリネット ..... 石田晃子 郡尚恵  
 バソン ..... 竹内美緒 村田明日香  
 ..... 小山清(スーパーソロ)  
 ホルン ..... 鈴木希恵 月原義行  
 トランペット ..... 加藤友美  
 打楽器 ..... 船迫優子 新城二奈子  
 ..... 植田衣久美 稲葉圭佑

ピアノ ..... 志田明子 村上夢子 中村衣里  
 ヴァイオリン ..... 松本亜土 植村圭 加藤恵子  
 ..... 近藤由理 井出武彦  
 ヴィオラ ..... 山廣みほ  
 チェロ ..... 松本ゆり子 大塚幸徳  
 コントラバス ..... 菅野明彦  
 ステージマネージャー . 杉浦友彦  
 ライブラリアン ..... 村上夢子  
 インスペクター ..... 石田晃子 村上夢子  
 アドヴァイザー ..... 松本亜土 菅野明彦 池田肇 幸西秀彦

## ヨハン・シュトラウス II (1825-1899) / ジュリアス・セレディ編曲 / 中原朋哉編曲 美しく青きドナウ / 皇帝円舞曲 / ポルカ「狩り」

作曲年と演奏時間：美しく青きドナウ 1867年 約9分 / 皇帝円舞曲 1888年 約10分 / ポルカ「狩り」 1875年 約3分  
編成：フルート(ピッコロ)、オーボエ2、クラリネット、バソン、ホルン2、トランペット、  
打楽器(小太鼓、大太鼓、トライアングル)、ヴァイオリン2部、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

### 《美しく青きドナウ》

ヨハン・シュトラウス2世が作曲した多くの優れた円舞曲(ワルツ)の中で最高傑作と言われている。

もとは合唱付の円舞曲として作曲されたが、合唱を省き、オーケストラのみで演奏することも出来るようになっていく。曲は、緩やかなテンポで開始される序奏により舞踏会の幕開けを告げ、5つの円舞曲が展開され、終結部(コーダ)をもって締めくくられる。

実際にウィーンでドナウ河は青く見えることはなく、濁っているのだが、ウィーン人は「恋をした女の子だけには青く見えるのだ。」と言う。

### 《皇帝円舞曲》

ヨハン・シュトラウス2世晩期の名作である。オーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ在位40年の祝典のために作曲され、1888年、宮廷での大夜会で初演された。曲は、2/2拍子のゆったりとした行進曲調の序奏で舞踏へと誘い、4つの円舞曲を経て終結部と向かう。

### 《ポルカ「狩り」》

ヨハン・シュトラウス2世は、自作の喜歌劇中の旋律を用いたワルツやポルカを作曲した。

この曲は、1875年に発表された喜歌劇「ウィーンのカリオストロ」の中の音楽をもとに作曲され、同年10月に初演された。曲はA(主部)-B(中間部)-Aの3部形式で、狩りの場面を取り入れている。

今回の演奏は、「シンフォニエッタ 静岡」の編成に合わせた小編成版の楽譜が使用される。

現在、これらの作品は大編成のオーケストラで聴くことが多く、また舞踏会も大人数で行われる事が多いが、宮廷のサロンでは本日のような少人数のオーケストラによる演奏がされていた。

## グスタフ・マーラー (1860-1911) / アルノルト・シェーンベルク編曲 (1874-1951) / リーン校訂 交響曲「大地の歌」

演奏時間：約65分

作曲年：1908-1909年 / シェーンベルクによる編曲：1921年 / リーンによる校訂：1983年

編成：フルート(ピッコロ持ち替え)、オーボエ(イングリッシュ・ホルン持ち替え)、クラリネット(E♭、バス持ち替え)、バソン(ファゴット)、ホルン、打楽器(小太鼓、大太鼓、トライアングル、タムタム、グロッケンシュピール、シンバル)、ピアノ、ハルモニウム、チェレスタ、ヴァイオリン2部、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

マーラーは、「偉大な交響曲作家は第9番が最後の作品になる。」という迷信を信じ込んでいた。それは第8番の交響曲を作曲した後、心臓の疾患を医師に宣告された事によって更に強いものになっていく。そしてこの作品を「大地の歌」と名付ける事で、「交響曲第9番」を避けた。その後マーラーは第9番と第10番を同時に作曲し始めるのだが、第9番が完成後亡くなってしまふ。第10番は第1楽章のみが完成しているのみである。

シェーンベルク編曲によるこの版は、1921年に作られた。マーラーのオリジナル版では80-100名のオーケストラで演奏されるのに対し、14名編成(本日は一部のパートを複数で演奏するため17名)という最小限の人数に抑えられている。また通常は、奇数楽章をテノール、偶数楽章をアルトもしくはバリトンが歌うが、本日は、この公演のために行われたオーディションによって選ばれた歌手により、奇数楽章をソプラノ、偶数楽章をアルトが受け持つ。

この「大地の歌」で用いられるテキストは、中国の詩を自由に翻訳したものをハンス・ベトゲが集めた詩集「中国の笛」から、マーラーが7つを選び出し、更にマーラー自身が修正や自作の詩句を加え、一部には新しい題をつけている。原作の詩は、李太白、錢起(異説あり)、孟浩然、王維のものである。

- 第1楽章：この世の悲哀を歌う酒の歌 (李太白)
- 第2楽章：秋の日に孤独なもの (錢起)
- 第3楽章：青春について (李太白)
- 第4楽章：美について (李太白)
- 第5楽章：春に酔えるもの (李太白)
- 第6楽章：告別 (孟浩然、王維)

## 都市づくり、街づくりのパートナー

総合建設業



ブレインマンション



セフティホーム

株式会社 **アーク東海** 静岡県島田市中河町8942番地の1  
TEL 0547-37-9811 FAX 0547-33-0018

創業 天保三年(1832年)  
呑人の 笑顔を想ふ、酒造り

## 株式会社大村屋酒造場

〒427-0022 静岡県島田市本通1-1-8  
TEL 0547-37-3058 FAX 0547-37-7576

URL <http://www.oomuraya.jp/>

### シンフォニエッタ 静岡 後援会のご案内

シンフォニエッタ 静岡 後援会は、シンフォニエッタ 静岡の活動にご賛同下さる個人、及び法人を対象に規定の会費を頂戴し、御支援いただくという会員制度です。

■会費 個人会員 ¥5,000/口 法人会員 ¥30,000/口

■期間 年会費納入日より一年間。お申し込みは随時お受け致します。

■特典 ○練習見学会にご参加いただけます。

○指揮者、楽団員との交流会にご参加いただけます。

○定期演奏会プログラムにお名前を掲載させていただきます。

○「シンフォニエッタ 静岡」の主催による公演のチケットを、一般販売に先がけて特別価格でお買い求めいただけます。

○2口以上お申し込み下さる個人会員の方は、上記の特典に加え、定期会員券1席を10%割引でお求めいただけます。

■ご入会のお申し込み・お問い合わせは、

シンフォニエッタ 静岡 ■電話 054-204-7778 FAX 054-204-7773

公演日には、ロビーのお申し込み窓口にてお申し込みいただけます。

後援会会員の皆様(敬称略 御芳名掲載希望の方のみ) 2006年12月1日までに御入会の方

#### <個人会員>

荒浪 元介 井澤 忠史 伊藤 椎 植田 公平 植田 佳世子

山村 章文 バルドン楽器 サウンドK MUSIC LA FESTA ざ フレーテ

#### <法人会員>

LGプロジェクト 株式会社 (有) あんしん堂自然形体研究所 貝嶋文化協会 貝嶋達子